（様式第2号）

地域振興推進費事業計画・自己評価書　（実績）

令和4年3月31日

地域振興局

提出区分	実績	整理番号	11	課題区分	C
横断的な課題	農商工観連携した果物を軸とする地域活性化「ながの果物語り」の推進				
地域重点政策	・地域資源を活かして県経済をけん引する「活力あふれる」長野地域づくり ・「人が集い、文化薫る」魅力ある長野地域づくり				

実施機関	長野農業農村支援センター	担当課	所属	技術経営普及課
事業名	もも産地復興モデル事業		電話	026-234-9534　内線2280
			E-mail	nagano-aec@pref.nagano.lg.jp

事業の概要等		
	目的（目指す姿）	ももの摘蕾・袋掛け・除袋・収穫等の作業改善と担い手確保による栽培面積の拡大と生産量の増加を目指す。
	現状と課題	〇現状 栽培面積が減少している要因である主要作業の摘蕾、袋掛け、徐袋、収穫作業の労働生産性の改善と担い手の確保育成が図られていないため遊休農地が増加している。 〇課題 栽培面積、生産量ともに減少率が高いため労働生産性の改善と担い手の確保が急務である。
	内容（変更後の内容）	（1）労働生産性を高めた省力生産技術 ・高圧洗浄機による摘蕾作業手法の分析 ・袋掛け、除袋作業の改善による作業の効率化 ・収穫作業の標準化を目指したエアコン・冷蔵保管による品質調査 （単価：変更前415円/kg　変更後701円/kg　　保管日数：変更前5日　変更後2日） （2）産地継続に向けた生産基盤の整備 ・もも団地化に向けての農地集積 ・ももセミナーによる技術の習得 ・農業法人設立に向けての支援
	事業期間	2021.4.1　～　2022.3.31

事業費等

（単位：円）

事業を構成する細事業名等	実施内容	計画（実績）額	備考
労働生産性を高めた省力生産技術	収穫作業の平準化のためのエアコン・冷蔵保管の品質調査	33,400	計画42,000円
合計		33,400	

指標及び達成状況

成果指標	目標値	成果	達成状況
作業時間の軽減率	5%減	7%減	◉ 達成
担い手への農地集積	750a	750a	○ 一部達成
新規就農研修生	1名	1名	○ 未達成

事業実績・成果

【実績】
・高圧洗浄機による摘蕾については、手摘蕾より40%作業の省力化できることが確認された。
・袋掛け作業については、8人の作業動画を撮影し確認したところ個人差が大きく各人に改善の余地があることが認識された。
・収穫作業の平準化については、前日収穫しエアコン予冷室(20℃)に入れ、翌日朝どりの果実と品質を比較したところ、大きな差は見られなかった。
・もも団地化については、福島地区の堤外地農地の栽培マップを作成し、農地集積、団地化に向けた検討が行われた。
・ももセミナーは、7人が受講し、摘蕾、摘果、袋掛け、収穫、せん定の技術習得を支援した。
【成果】
・高圧洗浄機による摘蕾作業については、令和4年度から新たに3名の農業者が実施することになった。
・前日収穫によるエアコン室へ保管により、収穫作業の平準化が図られることが確認できた。
・セミナー受講生の1名が令和4年から福島地区で新たにもも栽培をはじめることになった。

今後の方向性	・高圧洗浄機摘蕾により作業の省力化を図り高品質なももの生産を図る。 ・新たなもも栽培者の育成と誘致によるもも産地の復興を進める。